別紙－１

情報化施工の普及に向けた試験施工の実施について

情報化施工普及のための施工効率や、施工品質の検証などを目的とした試験施工及びアンケート調査を直轄工事にて、実施する。

1. 試験施工を実施する工事(工種)と情報化施工技術

・試験施工は、「河川土工」、「道路土工」および「舗装工」などの工種を含む工事を対象とした。
（別紙－２参照）

1)対象工事件数　　**２７件**；河川土工８件、道路土工１０件、舗装工５件、ダムなど４件

2)情報化施工技術件数　**４１件**；①マシンコントロール／マシンガイダンス技術　１３件
②ＴＳ[1]・ＧＮＳＳ[2]による締固め管理技術　１６件
③ＴＳによる出来形管理技術　１２件

表１　試験施工にて取り組む情報化施工技術内容（別紙－３参照）

情報化施工技術		作業内容	使用する建設機械
①	マシンコントロール／マシンガイダンス技術	巻き出し 敷き均し 掘削工	ブルドーザ グレーダ バックホウ
②	ＴＳ・ＧＮＳＳによる締固め管理技術	締固め	ローラ
③	ＴＳによる出来形管理技術	出来形計測	（ＴＳ）

・対象工事２７件のうち、

1)発注者の情報化施工技術（工法）指定による工事　**１０件**

2)施工者からの情報化施工に関する技術提案（施工者提案）による工事　**１７件**

・ダムやコンクリート舗装工事など工種の範囲を拡大して実施する工事も試験施工の対象とした。

2. 調査内容

試験施工を実施する工事において、施工効率の検証などを目的とした調査及びアンケート調査を現場の状況に応じて行う。調査は、表２の項目について実施する。

表２　調査項目

施工効率の検証	工事の施工効率を検証
施工品質の検証	設計データや施工管理データにより品質・出来形を検証
監督･検査方法の検証	情報化施工管理要領(案)※を用いて監督・検査を実施した場合の課題を検証

※情報化施工管理要領（案）
「ＴＳ・ＧＰＳを用いた盛土の締固め情報化施工管理要領（案）」
「施工データを搭載したＴＳによる出来形管理要領（案）」

3. 試験施工を通じた情報発信

情報化施工に対する理解の促進を図るため、発注者・施工者を対象とした見学会を現場状況に応じて開催し、情報発信を行う。

4. 今後の試験施工対象工事について

今後、発注される工事についても、施工者から情報化施工技術が提案・採用された工事などを積極的に試験施工対象工事とする予定である。

以　　上

1. ＴＳ；Total Station（トータルステーション）
2. ＧＮＳＳ；Global Navigation Satellite System（汎地球測位航法衛星システム）